

平成 31 年度（2019 年度）地球環境基金助成金交付要望書の採択について（総評）

平成 31 年 3 月 20 日
地球環境基金助成専門委員会

地球環境基金は、平成 31 年度（2019 年度）の助成金について、平成 30 年 11 月 5 日から平成 30 年 12 月 5 日の間に募集を行い、388 件 1,354 百万円（※1）の応募がありました。

助成専門委員会は、提出いただいた交付要望書について、平成 31 年度地球環境基金助成金募集案内の審査方針に基づき採否に係る審議（※2）を行い、198 件、609 百万円（※1）の採択案を機構に提言します。

- 1) これまで地球環境基金から助成を受けたことのない団体を対象とするはじめの助成に係る応募は、43 件、82 百万円でした。採択としたのは、11 件、20 百万円です。
- 2) これまで地球環境基金から助成を受けたことのない団体または直近 3 年間にはじめの助成を受けた団体を対象とするつづける助成に係る応募は、92 件、194 百万円でした。採択としたのは、43 件、83 百万円です。
- 3) ひろげる助成に係る応募は、199 件、848 百万円でした。採択としたのは、112 件、397 百万円です。
- 4) 先進的な環境保全活動を対象とするフロントランナー助成に係る応募は 13 件、95 百万円でした。採択としたのは、5 件、35 百万円です。
- 5) 国内の NGO・NPO を対象とするプラットフォーム助成に係る応募は 10 件、46 百万円でした。採択としたのは、4 件、20 百万円です。
- 6) 東日本大震災及び熊本地震の被災地域における環境保全活動を対象とした復興支援助成に係る応募は 15 件、56 百万円でした。採択としたのは、9 件、28 百万円です。
- 7) 東京 2020 の開催に向けた市民参加による環境保全活動を対象とする特別助成に係る応募は 3 件、14 百万円でした。採択としたのは、2 件、9 百万円です。
- 8) 地球環境基金企業協働プロジェクトとして実施する、清掃活動など水辺の環境保全活動を対象とする LOVE BLUE 助成に係る応募は 12 件、16 百万円でした。採択としたのは、12 件、13 百万円です。

平成 31 年度（2019 年度）地球環境基金助成金に多数の応募をいただきましたが、全ての案件を採択とすることはできず、募集案内に示す審査方針に基づき厳正な審議を行い、限られた予算の範囲内で、活動目的を達成するための具体的な計画（実施内容、実施方法、スケジュール及び予算など）が詳細に立てられている交付要望案件から採択としました。

今後、環境再生保全機構は、採択とした 198 件の団体と個々に調整し、活動内容及び活動計画、予算との整合性などを再確認したうえで、交付決定を行います。いずれの団体も、助成活動の実施により所期の目的が達成され、活動を通じて専門性や組織力が上がることを期待しています。

（※ 1）要望金額および採択金額の合計は、百万円未満切捨のため合計が合致しない場合があります。また、要望書に助成メニューの記載がない応募が 1 件ありました。

（※ 2）審議に当たって、重点配慮事項とした活動分野は①地球温暖化防止に資する活動、②生物多様性の保全に資する活動、③循環型社会の形成に資する活動、④有害物質による被害防止のための活動、⑤東日本大震災及び熊本地震に関連する環境保全活動です。

また、分野横断的な活動に対する重点配慮事項は、①パートナーシップ（協働）に基づく環境保全活動、②環境・経済・社会の持続可能性を目指した活動（SDGs）、③東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた活動、④国際的な視点を持つ活動への支援です。